世界の平和を願うゴスペルシンガー

ゴスペル広場代表　ナナ・ジェントル

プロフィール：15歳でゴスペルに出会い、ゴスペルクワイヤに所属。18歳の時トーゴで1ヶ月を過ごし、国際協力を志す。2007年、「ゴスペル広場」を設立。2008年5月にCharity Gospel Marathon2008を開催、ゴスペルスタジオ「ゴスペルスクエア」を渋谷に開く。収益金でスリランカに職業訓練の裁縫工場を建設。

ゴスペルとの出会い、そしてトーゴへ

小さい時から歌手になりたいと思っていたのですが、「天使にラブソングを」という映画をきっかけにゴスペルの魅力に取りつかれて、高校時代はゴスペルサークルで歌ってばかりいました。他にはバックパッカーの本を読んだりして、アフリカの素朴な生活に惹かれ「アフリカに行きたい！」と野望を持ったり、「近代化社会は問題が多いから自然に帰ろう」など、いろいろなことを考えていました。高校卒業の時点では大学進学など全く頭になく、将来については白紙のままで、アフリカに行くことを家族に認めてもらうため、青春18切符での国内旅行や、海外旅行、また卒業してすぐに、徳島のユースホステルで一ヶ月間　住み込みのアルバイトをしたりしていました。

日本にいるからこそ自分に出来ること

18歳の夏、念願叶ってトーゴのキャンプに参加し、地元のトーゴ人と西欧人数名と井戸すらないような所に一ヶ月間滞在しました。そこでアフリカの貧しい生活を目の当たりにして、何か自分に出来ないかと考えたんです。政府自体が信頼できないような状況で、公務員に給料が払われず学校に先生が来ないので、当然授業がなくなる。結果、子どもたちは卒業の資格も取れずが働き口がないという悪循環でした。また先進国のような発展した産業がないから求人も限られており、作ったものを売るとか、隣国で安く買ったものを少し高